



上水中だより

小平市立上水中学校
令和6年1月9日
第9号

「辰年に寄せて」

校長 市川 順 康



新しい年を迎え、皆様の弥栄(いやさか)をお祈り申し上げます。

令和5年の干支は辰年。始業式では「龍」についての話をしました。干支の中で唯一、想像上の「龍」と日本人とのつながりは、縄文時代の土器に彫られた流線形の蛇の模様が始まると言われていました。

古代の人たちも、龍の力を信じ、求めたため、仏教とも結びつき、龍の名が付く寺院、龍の彫刻が施された建築物や龍の絵が描かれた天井画など様々な形で表現されています。

修学旅行の見学場所でも有名な妙心寺には、狩野探幽の名作の「雲竜図」がありますが、この絵の龍の目は、見上げる場所と角度によって動いているように見えますと言われていました。

また、静岡県浜松市にある方広寺には、左甚五郎作の「昇り龍下り龍」という、今にも動き出しそうな木の彫刻があります。日本地図の日本の形も、見ようによっては、上り龍、下り龍、両方の龍の姿に見えと言われていました。北海道むかわ町穂別博物館で展示されている「恐竜」にも、カムイ・サウルス・ジャポニクスという生物の骨格標本が残っています。「カムイ」は、アイヌ語で「神」、「サウルス」とは、ラテン語で「竜」の意味です。

雅楽で使う笛には、高麗笛(こまぶえ)、神楽笛(かぐらぶえ)、龍笛(りゅうてき)の三種類があり、特に「龍笛」は他の二種類の笛(天と地の象徴)を結びつける重要な役割を担っています。

水族館では「タツノオトシゴ」を見ることができますが、私は小学生のころ初めてその姿を見たときに、地球上にこんなに面白い姿をした生き物がいるのかと、子供心になんとも言い難い驚きを感じました。今でも、タツノオトシゴを見る機会があると、あの時の驚きがよみがえります。

日本と龍には、このように深い文化的つながり、歴史的なつながりがあり、身近なところでの「龍」との出会いは、龍がもつ、強い前向きなエネルギーを感じられるチャンスかもしれません。辰年の前向きなエネルギーをパワーに変えて、新年を迎えましょう。今年もよろしくお祈りいたします。

<1月行事予定>

日	曜	行 事 等	16	火	安全指導日
1	月	元日	17	水	避難訓練 職員会議 ★
2	火		18	木	読み聞かせ(1・2) S・W
3	水		19	金	校外学習(2) ※特別時間割
4	木	W	20	土	
5	金		21	日	
6	土	冬季休業日終	22	月	(学年朝会) W
7	日		23	火	
8	月	成人の日 部活動再登校 15:30	24	水	移動教室始(1) ※特別時間割
9	火	始業式 第Ⅲ期時間割始 職員会議 研修会	25	木	※特別時間割 C・W
10	水	給食始 特別支援教室始 専門委員会	26	金	移動教室終(1) 復習確認テスト(2)
11	木	S・W	27	土	都立推薦入試 ※特別時間割
12	金	短縮時程 中央委員会 校内書き初め展	28	日	自治会連合防災運動会
13	土		29	月	W
14	日		30	火	短縮時程 専門委員会
15	月	生徒会朝会 W	31	水	研修会 ★

★：ほうかごきょうしつ、C：スクールカウンセラー勤務日、W：スクールソーシャルワーカー勤務日

上水中の12月



12/4 (月) 生徒会朝会



イベントの告知と「小・中あいさつ運動」の報告がありました。

12/6 (水) 生徒会のクリスマスイベント



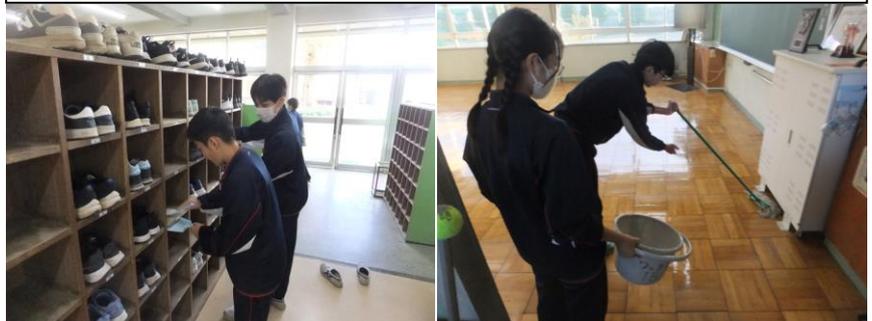
小児病棟に入院している子供たちに手作りのプレゼントを届けるボランティア活動に、たくさんの生徒が参加しました。

12/11 (月) 全校朝礼



人は、人との関わりの中で成長するという話がありました。

12/20 (水) 大掃除



上水中は、来校されたお客様に「学校がきれいですね。」とよく言っています。生徒が母校を大切にしているからです。

12/21 (木) 読み聞かせ



読み聞かせのあと、生徒が感想を伝えるクラスもありました。

12/25 (月) 終業式



校歌を歌い、校長講話では、世界の子供たちへ平和の願いがこめられた絵本の紹介がありました。一人一人に通知表が手渡されました。

生徒の活躍 (敬称略)

【税の作文】

多摩武蔵納税貯蓄組合連合会 優秀賞 3年
東京税理士会東村山支部 支部長賞 3年



【税の標語】

立川都税事務所所長賞 2年 「税を知り みんなで支える この社会」

【歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール】

第2位 3年

【歯・口の健康啓発標語コンクール】

第1位 2年

【第69回小平市民体育祭】

第4位 バレーボール部

